

(19)



JAPANESE PATENT OFFICE

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: 2002248068 A

(43) Date of publication of application: 03.09.02

(51) Int. Cl

**A47K 17/02**

**A47G 27/02**

(21) Application number: 2001102117

(71) Applicant: MURAKAMI HIDEO

(22) Date of filing: 22.02.01

(72) Inventor: MURAKAMI HIDEO

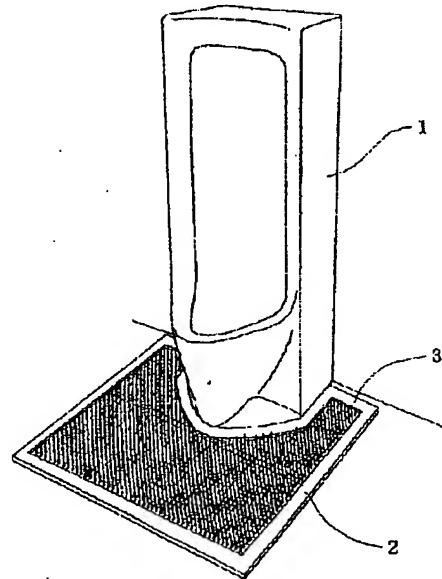
(54) TOILET MAT

(57) Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To improve unbearable uncleanness associated with the spillage of urine that causes a wetting of conventional carpet-like toilet mats by the absorption thereof and the uncleannesses likewise in disposable toilet mats invented by using paper, or the like, as material and added with a water absorbent, which uncleanness is felt by users as the mats are colored yellowish and present a sort of color in wetting due to the absorbed urine.

SOLUTION: A periphery part 2 is erected along the contour of the mat following an outer shape of a toilet. A number of protrusions 3 are arranged on a mat base 6 sticking up like an artificial turf or ribs 8 with an arbitrary geometrical shape are arranged thereon in such a manner to bristle the mat surface.

COPYRIGHT: (C)2002,JPO



# ABSTRACT ATTACHED

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2002-248068

(P2002-248068A)

(43)公開日 平成14年9月3日(2002.9.3)

(51)Int.Cl.<sup>7</sup>

A 47 K 17/02

A 47 G 27/02

識別記号

101

F I

A 47 K 17/02

A 47 G 27/02

テ-マコト<sup>\*</sup>(参考)

Z 2 D 0 3 7

1 0 1 Z 3 B 1 2 0

審査請求 未請求 請求項の数3 書面 (全4頁)

(21)出願番号

特願2001-102117(P2001-102117)

(22)出願日

平成13年2月22日(2001.2.22)

(71)出願人 000203162

村上 英穂

北海道札幌市西区発寒17条4丁目1番65号

(72)発明者 村上 英穂

北海道札幌市西区発寒17条4丁目1番65号

Fターム(参考) 2D037 EB01

3B120 AB01 BA02 BA09 BA11 BB02

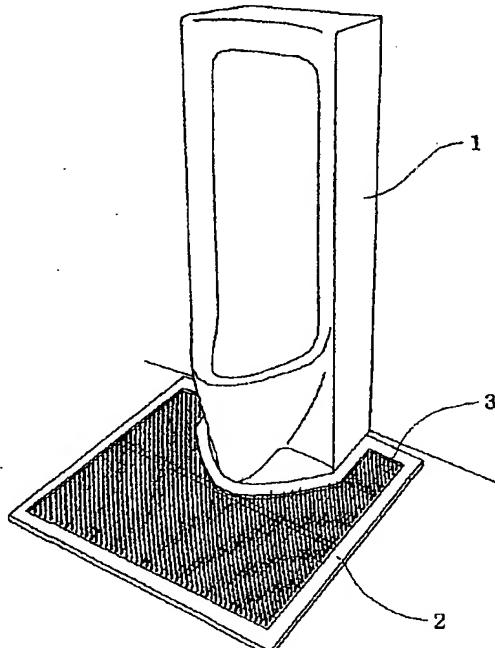
EA02 EB03 EB21

(54)【発明の名称】 トイレマット

(57)【要約】

【課題】 従来の絨毯状のトイレマットは小便がこぼれると吸水して濡れ、非常に不潔である。紙などを素材とし、吸水剤を付加した使い捨てトイレマットものが発明されているが、小便を吸収すると、従来型トイレマット同様不潔であり、見かけも黄色に着色したり、濡れ色になったりで使用者に不潔感を与えるという欠点があった。

【解決手段】 マットの輪郭に沿って周縁部2を立ててトレイ状とし、マットベース6に人工芝状に多数の突起3を立設するか、あるいは任意な幾何学形状をしたリブ8を立設したトイレマットとする。



【特許請求の範囲】

【請求項1】マットの輪郭に沿って周縁部2を立ててトレイ状とし、凹部4底面のマットベース6に人工芝状に多数の突起3を立設するか、あるいは任意な幾何学形状をしたリブ8を立設したトイレマット。

【請求項2】請求項1に記載したトイレマットに於いて、凹部4の形状に合わせた別のベースシート7に人工芝状に多数の突起3を立設するか、あるいは任意な幾何学形状をしたリブ8を立設したものを凹部4に横置してなるトイレマット。

【請求項3】請求項1に記載したトイレマットに於いて、凹部4の形状に合わせた、任意の開口形状をなす多数の貫通した穴を有する簪の子状パネル9を、凹部4に横置してなるトイレマット。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明はトイレにおいて便器の前に敷くトイレマットに関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来、家庭に於いては、便器の周囲に小水がこぼれると汚れるのを防ぐために、主に絨毯状素材を用いたトイレマットが広く使用されている。また、特願平6-10359、特願平6-333060、実願平8-3486、実願平9-7710、特願平10-107050等のように、紙などを素材とし、吸水剤を付加した使い捨てトイレマットものが発明、考案されている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】従来の絨毯状のトイレマットは小便がこぼれると吸水して濡れ、非常に不潔である。さらに、濡れたトイレマット上面にトイレ使用者が立つとスリッパの底が濡れ、スリッパ底に付着した小便がさらにトイレの床に付着して汚れを拡大することになる。

【0004】そのために前述のように紙などを素材とし、吸水剤を付加した使い捨てトイレマットものが発明されているが、小便を吸収すると、従来型トイレマット同様不潔であり、見かけも黄色に着色したり、濡れ色になつたりで使用者に不潔感を与えるという欠点があった。従って、清潔感を保つためには短いサイクルで交換していくかなければならないという煩わしさがあった。だから経費的に高く付くことになる。また、駅やビルや一般会社などのトイレに使用した場合、利用者の靴底に土や泥などが付着していると、トイレマットに吸水性があるので容易に汚れてしまうという欠点があった。

【0005】特願平10-107050は縁を立てたトレー状であり、トレーの凹部に吸水剤を用いたシートを入れた構造であるが、引用した他の発明や考案と異なり、小水の際に立つ位置が輪郭的に凹みとなってトレーに設けられており、直接シート上に立つことがないのでスリッパ底や靴底がシートに付着した小水で濡れること

はないが、不潔感があるという点と交換頻度を多くする必要がある点とそれによる経済性の低下という点では、吸水材を有するシートを用いた他の発明や考案と同様の欠点がある。また、便器使用時に立つ踏み位置が限定されるので、便器の使い勝手が悪くなると共に小さな子供などが使用するときに無理な姿勢を強いられるという欠点がある。

【0006】本発明は、これら従来のトイレマットの欠点をなくすために発明したものであり、従来のトイレマットに比較して交換などの手間を掛けないでトイレ内及び便器周辺を清潔に保つことができ、またトイレマットの清掃までの期間を大幅に延長することを目指したものである。

【0007】

【課題を解決するための手段】マットの輪郭に沿って周縁部2を立ててトレイ状とし、マットベース6に凹部4に向けて人工芝状に多数の突起3を立設するか、あるいは任意な幾何学形状をしたリブ8を立設したトイレマットとする。あるいは、上記記載のトイレマットに於いて、凹部4の形状に合わせた別のベースシート7に人工芝状に多数の突起3を立設するか、あるいは任意な幾何学形状をしたリブ8を立設したものを凹部4に横置してなるトイレマットとする。あるいは上記記載のトイレマットに於いて、凹部4の形状に合わせた、任意の開口形状をなす多数の貫通した穴を有する簪の子状パネル9を、凹部4に横置してなるトイレマットとする。

【0008】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態を図面に従って説明する。図1に示すとおり本発明のトイレマットはマットの周縁部と便器使用者がその上に立つ踏み面ととなる。本発明のマットの素材はビニールなどの合成樹脂あるいは合成ゴムとし、形状を矩形あるいは、略四辺形で四隅部に丸みを付け、必要に応じて便器方向の一辺を概ね便器底断面に合致するように便器當て部らを形成する。マットの輪郭に沿って周縁部2を立ち上げあるいは盛り上げてトレー状にする。踏み面部は図2のように多数の突起3、あるいは図6のように任意の幾何学形状をしたリブ8あるいは簪の子状パネル9で構成する。

【0009】突起3あるいはリブ8は、図3あるいは図7のように凹部4の底のマットベース6に立設するか、あるいは図4及び図5のように、凹部4の形状に合わせた別のベースシート7に立設する。あるいは、図8や図9のように、ベースシート7を設けず、凹部4の形状に合わせた、任意の開口形状をなす多数の貫通した穴を有する簪の子状パネル9を、凹部4に横置してもよい。ベースシート7を使用した場合、及び簪の子状パネル9とした場合は着脱自在な踏み面とすることができる。

【0010】

【発明の効果】本発明は以上のような構成であるから、

周辺に縁が立てられてトレー状になっているため小便がこぼれた場合でも凹部の底部に溜まつた小便がマット周囲に流れ出さない。また、凹部には多くの突起またはリブあるいは簾の子状パネルが設けられているので便器使用者が本発明のトイレマットに立った場合にスリッパ底や靴底が多数の突起あるいはリブ、又は簾の子状パネルに支えられるのでトイレマット底部に小便が溜まっている状態でもスリッパ底や靴底が濡れることがない。従って、小便後トイレ周囲の床を歩いてもスリッパ底や靴底に付着した小便で汚れないという特徴がある。素材が合成樹脂あるいは合成ゴムであり、それらを成型して構成されているので簡単に水洗いでき容易に清潔に保つことが出来る。

【0011】さらに、請求項2及び請求項3記載の発明に於いては、踏み面部を容易にマットから取り外すことが出来るので清掃作業がやりやすいと共に、汚れがそれほどひどくない場合は踏み面部だけの清掃で済ますことが可能となる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明のトイレマットを便器に使用したときの斜視図である。

【図2】本発明の実施例に於いて人工芝状に多数の突起を立設した場合の斜視図である。

【図3】本発明の実施例の断面図である。

【図4】本発明の実施例に於いて凹部形状に合わせたベースシートに多数の突起を立設した場合の断面図である。

【図5】図4の一部拡大図である。

【図6】本発明の実施例に於いて基盤目状にリブを立設した場合の斜視図である。

【図7】本発明の実施例に於いて基盤目状にリブを立設した場合の断面図である。

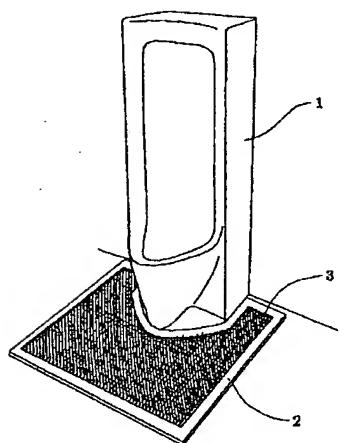
【図8】本発明の実施例に於いて凹部形状に合わせた簾の子状パネルを用いた場合の断面図である。

【図9】図8の一部拡大図である。

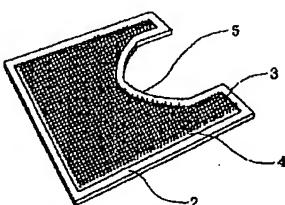
【符号の説明】

1	便器
2	周縁部
3	突起
4	凹部
5	便器當て部
6	マットベース
7	ベースシート
8	リブ
9	簾の子状パネル

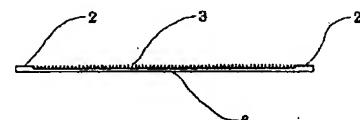
【図1】



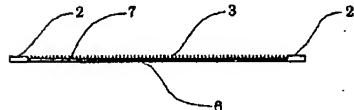
【図2】



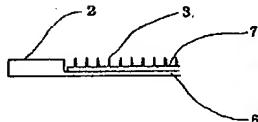
【図3】



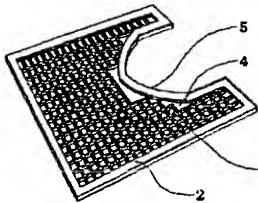
【図4】



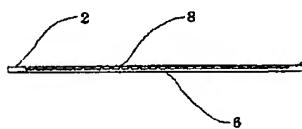
【図5】



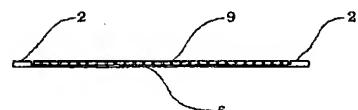
【図6】



【図7】



【図8】



1(4) 002-248068 (P2002-2418

【図9】

